



松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。

その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる文化施設です。



陶磁器館

古伊万里たち

うつくしき

江戸時代に作られた古伊万里は、現在に至るまで多くの人々を魅了してやみません。

一口に伊万里焼と言ってもその魅力は様々です。草創期故に技術は未熟ながらも、それによる柔らかな白磁と滲むような線描が目によさしい初期伊万里。乳白色の素地に赤や金が美しい柿右衛門様式や、ヨーロッパの宮殿の大空間に映えるよう作られた豪華絢爛な金欄手様式は、英国のメアリー2世やアウグスト強王などの王侯貴族をも虜にしました。同じ伊万里焼でありながら、多様なスタイルで、時代や国を問わずファンを絶やしません。

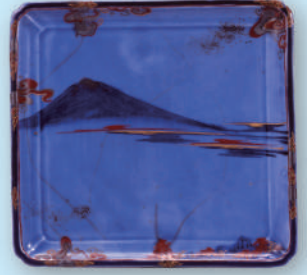


「色絵芙蓉手化盆文大皿」
1660-80年代・初期輸出色絵

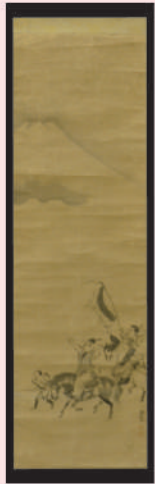
本展では、名品揃いの当館所蔵品の中から厳選したうつくしき古伊万里たちをご紹介します。みなさまの心に響く古伊万里と出会えることを願っております。

併設「香りを楽しむうつわたち」

香を入れる器には陶磁器製のものも欠かせません。本展では古陶から現代陶芸作家の作品まで、香りを楽しむために作られた器をご紹介します。今も昔も変わらず作られ続ける香合や香炉をお楽しみください。



「瑠璃釉金銀彩富士山雲文四足角皿」
1655-60年代・寛文様式



「朝鮮通信使富士賞賛図」
市川君圭筆・江戸時代後期・紙本墨画

徳川家康の命を受け、対馬藩主の宗義智が朝鮮王朝との交渉にあたり、慶長12年(1607)に第1次の朝鮮通信使が来日します。それから、徳川幕府の慶賀の使節として、江戸時代を通じ12回来日しました。朝鮮通信使が江戸まで旅をする各地に接待所が設けられ、広島藩の接待所はここ下蒲刈島が指定されました。江戸時代の第1次朝鮮通信使から、第11次朝鮮通信使までの11回下蒲刈島に立ち寄った歴史があります。朝鮮通信使は当時の日本に大きな影響を与え、絵画や書などさまざまな形でその様子を知ることができます。

本展では、朝鮮通信使の記録をたどりながら、江戸時代の朝鮮通信使の歴史をご紹介します。



「朝鮮通信使行列図巻」(部分)
江戸時代中期・紙本木版手彩色



御馳走一番館
朝鮮通信使資料館

朝鮮通信使の歴史



山口県上関町から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。

あかりの館

The Lamp Museum



江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を上関に現存している建物を参考に復元しています。

蒲刈島御番所

The Kamagiri Gurd House

周辺施設のご案内

2会場で開催します

京都洋画壇の巨匠、須田国太郎の常設展示館。
三之瀬御本陣芸術文化館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088

近代日本画壇の名品が、本格的木造建築の中鑑賞できます。
蘭島閣美術館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066

2024.5/1(水)~6/24(月)

特別展

『生誕130年 没後60年を越えて
須田国太郎の芸術
-三つのまなざし-』

小高い丘の上に建つ、洋画家・寺内萬治郎の常設展示館。
蘭島閣美術館別館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500

2024.3/27(水)~6/17(月)

所蔵品展
『没後60年・没後20年
寺内萬治郎と森清治郎』

交通 Access

広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、呉市観光案内所 TEL.0823-23-7845まで。

呉から電車とバス

JR 呉線が広駅または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社バス「田戸・大浦・宮農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。
バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 ☎0823-70-7051

